

宮崎市におけるスクールワイドPBS

～特別支援教育の視点を生かした

学校全体で行う組織的支援～



先行実施校の実践取組例

①宮崎市立青島中学校

スクールワイドPBS

学校全体で取り組むポジティブな行動支援
SWPBS (School Wide Positive Behavior Support)

スクールワイドPBSとは

スクールワイドPBSは、児童生徒が示す問題行動に対し、それを罰するのではなく、「身に付けさせたい行動を育てる」という発想のもと、学校の実情や課題等を踏まえて場面ごとに行動目標を設定し、学校全体で全ての児童生徒を対象に取り組む組織的アプローチです。

行動目標の設定例 (めざす児童生徒像を場面ごとに具体化)

	主体的な子ども	思いやりのある子ども	たくましい子ども
授業中			
清掃の時間			
集会の時間			
教室移動中			



	A 礼儀正しく、元気のある生徒	B 目標をもって、自ら学ぶ生徒	C 責任をもって、確実にやり遂げる生徒
1 登校	校門で立ち止まりあいさつをしよう。	時間を守って登校しよう。	体調を整えて、元気に学校に来よう。
2 授業中	始まりと終わりの挨拶を大きな声でしよう。	積極的に授業に参加しよう。	授業の目標を達成しよう。
3 休み時間	2分前着席をしよう。	次の授業の準備をしよう。	係の仕事を責任をもってやろう。
4 給食	給食前に手洗い・うがいをしよう。	好き嫌いをせず、バランスよく時間内に食べ終わろう。	給食準備を全員で協力して行おう。
5 昼休み	予鈴で教室に戻ろう。		使った道具や本は元の場所にしまおう。
6 清掃	清掃前の熱想をきちんとしよう。	時間いっぱい清掃に取り組もう。	自分の清掃場所を無言で責任をもってきれいにしよう。

スクールワイドPBS 行動支援計画表

ステップ 1 : 学校全体で増やしたい行動(標的行動)を決める		
ステップ 2 : 児童生徒に伝える「標的行動を行う理由」を考える		
ステップ 3 : 標的行動の具体例を考える		
良い例		悪い例
ステップ 4 : 学校全体で標的行動を増やすためのきっかけ、行動、結果に対する具体的な支援を計画する		
きっかけ (わかりやすい状況を作る)	行動 (できるように確認・練習する)	結果 (望ましい結果を随伴させる)
ステップ 5 : 学校全体で児童生徒の標的行動の定着を評価するための記録方法を計画する		
ステップ 6 : 全児童生徒や全教職員に支援結果をフィードバックする方法を計画する		

大久保賢一ら (2020) 公立小学校における学校規模ポジティブ行動支援 (SWPBS) 第1層支援の効果と社会的妥当性の検討. 行動分析学研究, 34, 244-257. より引用し改変

《今年度の取組状況及び展望》

- スクールワイドPBS に取り組むことでどのような良いことが期待できるかを明確にした。
- 生徒にこうあってほしいというマトリクスを作成した。
- 行動支援計画表を作成し、取り組んだ。
- マトリクスの「A」に関して時と場に応じた礼儀正しい態度や言葉遣いができるよう指導し、意欲を高めるよう、上手くできたときはシールを渡し評価した。

教師の計画としてだけでなく、生徒会活動にもスクールワイドPBSの考え方を取り入れたり、マトリクスを意識していくような取組をしていく予定です。



②宮崎市立小松台小学校

令和3・4年度

あいさつ運動の取組(見える化)

がんばりを認めたり、称賛したりできる場を児童玄関につくり、児童のがんばりや成長を児童自身が確認できるような工夫を行った。



令和5年度

5 キャンペーン取組

「マナー・れいぎ」キャンペーン・保健委員会

始業前 はきものをそろえよう

保健委員会 トイレのスリッパの枠にそろえておく靴のかかとを靴箱のふちにそろえる



令和5年度 3 行動マトリクスの見直し

各校務部で見直しを重ね、作成した

学年	目標	現状	課題	取組	評価
1年	挨拶が出来るようになる	挨拶が出来ない児童がまだいる	挨拶が出来ない児童がまだいる	挨拶が出来ない児童を指名して練習させる	挨拶が出来た児童を表彰する
2年	挨拶が出来るようになる	挨拶が出来ない児童がまだいる	挨拶が出来ない児童がまだいる	挨拶が出来ない児童を指名して練習させる	挨拶が出来た児童を表彰する
3年	挨拶が出来るようになる	挨拶が出来ない児童がまだいる	挨拶が出来ない児童がまだいる	挨拶が出来ない児童を指名して練習させる	挨拶が出来た児童を表彰する
4年	挨拶が出来るようになる	挨拶が出来ない児童がまだいる	挨拶が出来ない児童がまだいる	挨拶が出来ない児童を指名して練習させる	挨拶が出来た児童を表彰する
5年	挨拶が出来るようになる	挨拶が出来ない児童がまだいる	挨拶が出来ない児童がまだいる	挨拶が出来ない児童を指名して練習させる	挨拶が出来た児童を表彰する
6年	挨拶が出来るようになる	挨拶が出来ない児童がまだいる	挨拶が出来ない児童がまだいる	挨拶が出来ない児童を指名して練習させる	挨拶が出来た児童を表彰する

令和5年度

「ハートフル」キャンペーン (いいところみつけ・人権週間)

- キャンペーンとして取り上げられなかった項目をビンゴ項目に入れた。
- 低・中・高学年で異なる。
- 自分で目標を設定し取り組める。
- 友達の良いところもみつけることで、相互評価を取り入れた。

ハートフルビンゴ (高学年)

優しく明るく元気よく、協力あられる小松台っ子!

1/22 月 挨拶が出来ない児童を指名して練習させる

1/23 火 挨拶が出来ない児童を指名して練習させる

1/24 水 挨拶が出来ない児童を指名して練習させる

1/25 木 挨拶が出来ない児童を指名して練習させる

1/26 金 挨拶が出来ない児童を指名して練習させる

《成果》

- 令和3, 4年度を取組をもとに実践のサイクルを作ることができ、委員会活動に広がりのある実践を行うことができた。
- 職員全体にスクールワイドPBSの考え方が浸透し、教師が称賛しようという意識が広まった。
- 認められる機会が増えることで、児童の自己肯定感、自己有用感につながっているのではないかと、それが、学習面にも良い影響を与えているのではないかと。

児童の実態に基づいた行動マトリクスの作成や取組のサイクルが図られています。



～宮崎市での取組についてのお問合せ～

宮崎市教育委員会 学校教育課

〒889-1696 宮崎市清武町西新町1番地1

TEL (0985)85-1825 Fax (0985)44-1564



令和6年度も、18校の先行実施校にて、更なる取組を進めてまいります。